

経済学部入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

入学者に求める知識・技能・態度・体験

経済学部の掲げる教育研究上の目的(立教大学学則第1章第1条2項 別表7参照。以降同様。)や学修成果を実現するために以下のような知識、技能、態度、体験を有する入学者を求めると共にそれを前提として経済学部教育が展開されている。

・知識

経済学に関する特別の知識などは必要ないが、高等学校教育課程の全ての科目に対し真面目に取り組み相応の知識を有している必要がある。高い国語能力に加えて、外国語の十分な知識が必要となる。また、経済学や会計学といった社会科学を学ぶ学部であるので歴史や社会、数学などについて一定水準以上の関心と能力を有していることが望まれる。

・技能

日本語および英語などの語学力は習得しておくべき不可欠の技能である。「英語」に関しては、読む、書く、話す、聞くといった能力を高等学校で十分に身につけておくことが必要である。大学では多くの文献を講読するため、優れた文章読解力を身に付けておくことも望まれる能力である。

・態度

社会問題に深く関心を有する態度がまず望まれる。その際、高い倫理観と共に社会的弱者に対する優しい眼差しを有していることも重要なことである。また、大学では多様な文化的背景や生活体験を有する人々と接するため、そうした人々と共に学ぶためには偏見や差別意識を有さないことは当然の態度である。豊かな感性と社会常識を持ちながら、様々なことに積極的にチャレンジする意欲のある学生を求める。

・体験

基本的には高等学校で学習や行事に積極的かつ真面目に取り組んできた体験が大事である。その上でスポーツやクラブ活動、生徒会活動、ボランティアなど、何か真剣に取り組んできたことがあればより望ましいと考える。

入試種別の目的

1. 一般入試

本学ならびに経済学部の教育研究上の目的を理解し、経済学部での教育を志望する者に対して、高等学校における教科・科目の学習の達成度を測り、選抜することを目的とする。

2. 大学入学共通テスト利用入試

本学ならびに経済学部の教育研究上の目的を理解し、経済学部での教育を志望する者に対して、高等学校における教科・科目の学習の達成度を、大学入学共通テストを利用して測定し、選抜することを目的とする。

3. 自由選抜入試

志望する学部に関連した高い能力をもつ者、あるいは学業以外の諸活動の分野に秀でた個性をもつ者で、本学ならびに経済学部の教育研究上の目的を理解し、そこで学びたいという熱意を提出書類及び面接等の内容により多面的・総合的に評価し、選抜することを目的とする。

4. アスリート選抜入試

スポーツ競技の実績が優秀であるだけでなく、人格的にも優れ学業に対する高い意欲をもつ者を、競技実績や提出書類、小論文、面接等の内容により多面的・総合的に評価し、選抜することを目的とする。

5. 外国人留学生入試

国際交流の一環として、交換留学制度とは別に、本学での教育を希望する外国人留学生を選抜することを目的とする。

・書類選考による募集制度

外国人留学生を、提出書類および日本留学試験の成績等の内容により、多面的・総合的に評価する。

6. 指定校推薦入学

経済学部が自らの教育研究上の目的に基づいて、特色ある教育を行っている高等学校を指定したうえで、経済学部の教育研究上の目的を理解し、経済学部が定める一定の学力を有する者を高等学校長が推薦し経済学部が受け入れることを目的とする。

7. 関係校推薦入学

日本聖公会に所属する高等学校を対象として、本学ならびに経済学部の教育研究上の目的を理解し、キリスト教に基づく教育を継続して学びたいという意欲のある者を高等学校長が推薦し本学が受け入れることを目的とする。

8. 学校長推薦による入学 (NEXUS)

NEXUS プログラム日本語集中履修期間のカリキュラム内容ならびに2学期目以降に接続する経済学部カリキュラムにおける教育研究上の目的に基づいて、特色ある教育や言語教育を行っている外国の高等学校を指定したうえで、次世代に繋がるグローバルな協働共生について日本語コミュニケーションを通じ実践する姿勢を持ち、かつ経済学部の教育研究上の目的を理解し本学が定める一定の学力を有する者を当該の高等学校長が推薦し経済学部が受け入れることを目的とする。

入学前学習

REO (Rikkyo English Online) を利用した英語学習を課している。また、指定校推薦入学・関係校推薦入学・自由選抜入試合格者・アスリート選抜入試の合格者に対しては入学前に読んでおくべき推薦図書リストを送付している。